

## 2011年度第7回理事会(定例) 開催



### ●2011年度第7回理事会(定例)について

2012年3月22日(木)にJVA事務局会議室で開催された2011年度第7回理事会(定例)の概要をお知らせします。

#### <決議事項>

#### ●第3期(2012年度)事業計画について

1月24日に開催された第6回理事会(定例)にて承認可決されたJVA運営基本方針に基づき、強化事業本部、国際事業本部、国内事業本部、M&M(マーケティング&マーチャンダイジング)事業本部、業務推進事業本部の5本部長より、公益目的事業等、事業区分にしたがい詳細な事業計画が提案され、理事会はこれを承認可決いたしました。

事業計画書は、本会webサイトの事業計画のページ(<http://www.jva.or.jp/jva/project.html>)に掲載しております。

#### ●第3期(2012年度)収支予算について

第3期収支予算については、経常収益20億5,395万円(前年度より10億7,603万円減)、経常費用20億4,784万円(同10億8,225万円減)、税引き前当期一般正味財産増加額610万6千円、税引き後当期一般正味財産増加額311万9千円を計上、わずかではありますが黒字予算となりました。

収支とも前年度より10億円超の減となっておりますが、前年はワールドカップ開催年であり、事業規模による収支の差が予算に表れたものです。

収支予算の詳細は、本会webサイトの事業計画のページ(<http://www.jva.or.jp/jva/project.html>)に掲載しております。

#### ●役員候補者推薦委員会の設置と委員の選任について

2012年6月開催の定時評議員会にて任期満了による監事の改選が予定されています。監事候補者の推薦は役員候補者推薦規程に基づき行いますが、本理事会にて役員候補者推薦委員会の設置が承認され、同委員会委員が次のように選任されました。

##### ・役員候補者推薦委員会委員

迫田義人委員(評議員)、中野泰三郎委員(代表理事)、竹内浩委員(理事)、高橋治憲委員(監事)、荻野明江委員(事務局員)、(前記5名の属性以外の委員として)大西浩志委員、豊島吉博委員  
以上7名

なお、同委員会に提出する監事候補者の推薦は加盟団体及び理事各位に後日依頼する予定になっております。同委員会は、委員会に寄せられた候補者推薦書を検討の上、理事会に対して推薦案を上程いたしません。理事会ではこの推薦案の審議を行い、監事の選任が行われる評議員会に提案することになります。

#### ●指導における倫理ガイドラインの制定について

指導における倫理ガイドラインの制定が決議されました。(別紙に全文を添付しております)

このガイドラインは、JVAに登録する全てのメンバーがバレーボールとビーチバレーを指導するに当たって、暴力行為やセクハラなど、倫理に反する行為を行うことを防止し、それらの行為により被害を受けることを防ぐことを目的としています。

このガイドラインは、バレーボールとビーチバレーの指導(コーチング)を制限することを意図したものではありません。

なく、むしろこのガイドラインの理念と目的が正しく理解されることにより、適切でより効果的な指導が行われることを目指しております。

皆様におかれましてはこのガイドラインをご活用くださいますようお願いいたします。

#### ●功労者Ⅰ表彰及び功労団体表彰について

功労者Ⅰ表彰は、JVA役員、JVA委員会委員、及び全国的に組織されたバレーボール競技団体(全国連盟)役員を対象として5年に1回行われます。また、功労団体表彰は、JVAが推進する事業に対し、長年にわたり積極的に協力して顕著な成果を上げ、JVAの発展に著しく貢献した団体を表彰するもので、これも5年に1回行われます。

本理事会にて、次のとおり表彰の決議が行われました。

功労者Ⅰ表彰： 山崎 宣夫(前日本小学生連盟会長) 小山 勉(元JVA専務理事)  
豊田 博(元JVA副会長) 橋爪 静夫(元JVA副会長)  
山岸 紀郎(故人・元JVA専務理事) 米田 一典(故人・元全日本女子監督)

功労団体表彰： 神奈川県藤沢市 株式会社毎日新聞社  
広島県バレーボール協会 呉支部 呉バレーボール協会  
以上6名3団体

#### <報告事項>

#### ●第4四半期職務執行報告について

中野会長ほか8名の業務執行理事から第4四半期における職務執行報告が行われました。

FIVB理事会出席、春の高校バレー開催、競技人口拡大委員会の設置および委員の選任、MRS研修会の開催、全国指導普及委員長会議の開催、全国競技委員長研修会の開催、アジア連盟コーチ委員会出席、2011 ワールドカップ決算作業、2012 ロンドンオリンピック世界最終予選準備作業、ワールドカップ 2015&2019 契約調整、故松平名誉顧問お別れの会関連業務ほかについて担当業務執行理事から報告が行われました。

#### ●功労者Ⅱ表彰者について

功労者Ⅱ表彰は都道府県バレーボール協会役員等を対象に随時行われていますが、第2期(2011年度)第4回功労者Ⅱ表彰として次の方々の表彰を行うことが岩満一臣表彰委員会委員長より報告されました。

第2期(2011年度)第4回功労者Ⅱ表彰者 (カッコ内は所属団体役職)

吹野武文(山梨県協会参与)	河村 俊彦(静岡県協会顧問)
則武 薫(愛知県協会参与)	柴田 正光(愛知県協会理事)
香川英世(大阪府協会副理事長)	藤田 芳博(広島県協会理事)
森 任一(福岡県協会監事)	平田 逸夫(熊本県協会理事長)
外村聖治(熊本県協会副会長)	茶屋道法文(故人・元鹿児島県協会常任理事)

#### ■故松平康隆名誉顧問お別れの会■

故松平名誉顧問お別れの会が3月9日に執り行われました。当日は激しい雨にもかかわらず約1,000名の方々が参列、悲しみのなか故人に献花して最後のお別れをいたしました。

お別れの会は、竹田恒和JOC会長の「多くの方が故人の旅立ちを悲しんでいます。故人は、日本人として国を愛し、日本人の誇りを持った方でした。故人の厳しい顔、優しい顔、そして楽しい顔は忘れられません。どうぞ安らかに休息ください。天国でいつまでも見守ってください。」という追悼の辞から始まりました。

次に弔辞に立ったウェイ国際バレーボール連盟会長は「松平氏は、選手から監督、そして最終的には日本、アジア、国際的レベルの役員として、人生の全てをバレーボールに捧げた人でした。FIVB20世紀世界最優秀監督を受賞するにふさわしい功績を残しました。またそれだけではなく、ヨーロッパのチームが表彰台を独占していた時代に、日本人の体格にあった東洋のプレースタイルを考案しました。松平氏は人生の友であり、これからも私たちの記憶の中に生き続けるでしょう」と故名誉顧問を称えました。

生前親交の深かった石原慎太郎東京都知事は「バレーボールに限らず、日本のリーダーがどうあるべきか、まず目標を立て、戦略を踏まえて実行する松平さんのような方を今日本は求めています。天国から、若い世代を叱咤激励してほしい」と弔辞を述べられました。

ミュンヘンオリンピックでコーチを務めた中野尚弘氏は「ミュンヘンから40年が経ちますが、当時の体育

館の張りつめた空気、1本のミスも許さない松平さんの厳しい声が今も脳裏に焼き付いています。ミュンヘンでは、もう後がなくなった時、『あと2時間コートに立っていたら勝てるぞ』という言葉を選手たちにかけてください、松平さんの選手への絶対の信頼が金メダルをもたらしました。そしてコートから離れると、本当に温かく、思いやりにあふれ、父親のような存在でした。先に逝った猫田や南、そして(中村)祐造らミュンヘンメンバーと、天国でバレー談義に花を咲かせていることでしょう」と故人の人柄を偲んでいました。



弔辞を述べる石原慎太郎東京都知事



左から「お別れの会」発起人竹田恒和JOC会長、中野泰三郎JVA会長、  
喪主松平俊江様

発行・公益財団法人日本バレーボール協会  
電話・03-5786-2100 FAX・03-5786-2109

発行人・業務執行理事事務局長 岩満 一臣  
Email・generalaffairs@jva.or.jp